

地域除雪ボランティア隊員募集

○募集要項

①目的

地域で除雪で困っている方（高齢者及び病気等の方）への除雪を支援します。

②活動内容

- ・活動範囲は家の玄関先から道路までの区間とする。
- ・除雪の積雪基準を15cm以上とする。（特別依頼のあった場合は出動します）
- ・機械又は人力による除雪は隊員の判断に委ねます。

③報酬（有償）

- ・除雪機械使用の場合、1時間につき2,700円（燃料代等諸経費含む）とします。（運営体で支給します）

- ・手作業の場合1時間につき1,500円（車代含）とします。

- ・1時間を超えた場合は、500円を追加支給します。

- ・報酬の支給～活動日誌を提出し、確認後支給します。

④登録手続き

- ・募集は自己申告又は運営体からの依頼の形をとります。

- ・集落に1～2名程度の募集とします。

- ・希望者は、12月24日（金）まで下記の集落長さん又は神代地域運営体事務局（神代出張所内）44-2112まで。

⑤その他

- ・隊員に登録された方には、運営体で共済保険への加入手続きをします。

- ・12月25日（土）午前10時から就業改善センターで登録者への説明会を行います。

※除雪ボランティア隊の支援を希望する地域の皆さんへ

下記の集落長さん又は事務局へ申込み下さい。

集落名	集落長名	電話	集落名	集落長名	電話
院内	荒澤 栄 さん	44-2540	六丁野・中関	松田 正雄 さん	44-2579
鎌川	佐藤 善郎 さん	44-2036	国館	津嶋 賢二郎 さん	44-3617
谷地川	大山 実 さん	44-3217	野中清水	細川 勇一 さん	44-3108
大船・東田	藤原 儀英 さん	44-2337	神代中央通	大坂 吉郎 さん	44-2015
手習石	糸井 満夫 さん	44-3370	中野	田口 文雄 さん	44-2348
森腰	大石 一夫 さん	44-2781	下村	細川 秋夫 さん	44-2107
真崎野	津島 栄 さん	44-2372	荒川尻	細川 甚衛 さん	44-3531
上卒田	信田 幸雄 さん	44-2672	生田	高橋 昭治 さん	44-3054
荒町	藤井 英雄 さん	44-3567	松原	細川 章太郎 さん	44-2768
本町・城廻り	高橋 英雄 さん	44-3466	柏林	高橋 勉 さん	44-2264
田中	平岡 春彦 さん	44-3734	大荒田	古郡 喜久悦 さん	44-3753
熊野林	藤田 静夫 さん	44-3421	真崎	船山 直信 さん	44-3019
羽根ヶ台	芳谷 正邦 さん	44-2121	黒倉	真崎 愿 さん	44-2653
太田	三浦 春喜 さん	44-2534	抱返り	高田 一光 さん	52-4610
下道	佐藤 公平 さん	44-3528	わらび座	清家 史朗 さん	44-3311

こさかファクトリーの視察研修を終えて

研修視察を終え、いかに生産野菜に付加価値を付けることが大切かを感じました。乾燥野菜を作ることより、規格外野菜に付加価値を付け、保存をし計画出荷することが可能になる。

安全で・安心。味がよく・みばえが良く・安値加工し農業所得向上により、農業者だけでなく、地域住民に雇用の場所が出来、地域の活性化につながるような取り組みがいかに大切か感じました。

新たに野菜作りに取り組み農業者が出てくるような活動を行い、野菜生産農業者の拡大に努力します。

産業振興支援部長 藤田 静夫

ことしの冬

☆ふゆガッコこんく〜る

それぞれのご家庭のご自慢の漬け物や加工品コンクール
後日、詳細を「たより」でご案内します。 2月中旬を予定。

☆特産の粉末野菜を使った「ごっつお」作り教室

山の芋の粉末を使った料理教室の開催。 1月下旬を予定。

集落案内板の製作について

- 看板のデザインを神代小学校の生徒さんをお願いしました。
- 3月上旬まで看板を製作し、雪解けとともに集落の皆さんの協力を頂き設置します。

★集落座談会を終えて Q & A

Q. 敬老会を開催してほしい。
A. 市、各団体、老人クラブと話をもちたい。

Q. 除雪機械は購入できるか。
A. 運営体での購入はさけリース（個人）で対応する

Q. 広報を頻繁に発行してほしい。
A. 毎月の発行を計画しているが、その他必要な行事や事項についてはその都度発行して行きたい。

Q. 総合的な福祉政策が必要ではないか。
A. 役員会を通じてそれぞれの分野の検証して行きたい。

Q. 梅沢ささらの発祥の地を標注で表示してほしい
A. 他の地域を参考に検討したい。

Q. 本町付近の河川の汚れが目立ち、観光地として景観を損ねていることから、従来進めてきた集落の愛護活動を見なおしながら、堤防、川底のしゅんせつ等の事業取り組み出来ないか。
A. 国、県が行う事業、また、愛護団体への助成事業等の関わりを精査しながら、こちらで出来る事、国県に依頼することを整理しながら運営体で出来る事を今後進めてまいりたい。

Q. 家庭の漬け物等を高原地区等の旅館業の板前さんに供給できないか。そのような事を構築出来ないか。
A. 現在の取り組み方針としては、従来規格外で処分されてきた野菜等をどうにかしたい、そうした事から保存の利く乾燥製品して付加価値をつけ、二次、三次加工品への利用を目的に研究したいと考えており、市の総合産業研究所ともタイアップしていきたい。

Q. 付加価値を付けた事業を展開してほしい。
A. 将来的にはブランド商品の開発へとつなげて行きたい。

Q. 園芸も野菜ドライ加工技術を取り入れられないか
A. 時代の先端を考慮しながら、既存の地域の生産団体と協議を重ね検討して参りたい。

Q. 活動が地域の住民末端まで見えていないような気がする。こうした現状を打破し、地域皆がこぞって取り組む形を取ってほしい。
A. 広報のあり方を考え、今後みなさんに理解するよう取り組み方を考えて行きます。

皆様のご意見を実行に向けて努力して参ります。ご協力お願い致します。